

2020年5月29日

特定非営利活動法人 動物実験の廃止を求める会
理事長 長谷川裕一様

アサヒグループホールディングス株式会社
代表取締役社長兼 CEO 小路明善

要望書に対するご回答

拝復 時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

さて、貴団体から受領しました2020年3月24日付「食品飲料、化粧品、日用品分野における動物実験廃止を求める要望書」につきましては、下記のとおりご回答申し上げます。

敬具

記

1. 要望事項1につきまして

当社グループでは、「期待を超えるおいしさ、楽しい生活文化の創造」をグループミッションとして掲げ、お客様の豊かな生活に貢献すべく、日々研究開発を行っております。中でも、健康・長寿の達成は「人生100年時代」を生きる日本国民の願いであり、日本政府が提唱するSDGs実施指針の重要な一分野でもあります。当社グループでは、このような社会的課題の解決の一助を担うべく、お客様にとって身近な食品・飲料の分野で特定保健用食品や機能性表示食品を開発・販売し、健康寿命の延伸や生活者のクオリティ・オブ・ライフの向上に努めてまいりました。このような商品の開発に当たっては、もとより日本の「動物の愛護及び管理に関する法律」や国際原則である「3R」(Replacement 代替法の利用、Reduction 使用動物数の削減、Refinement 実験動物の苦痛軽減)の原則を遵守し、動物福祉の観点に配慮してまいりました。

このような状況の中、前回面談時にご説明差し上げましたとおり、当社では2018年に米国の動物愛護団体PETAから法律上明確に義務付けられていない動物実験を廃止するよう要請を受けたことをきっかけとして、動物実験の廃止に向けた検討を始め、「アサヒグループの動物実験に対する基本姿勢」(以下「本基本姿勢」といいます。)を制定した次第です。本基本姿勢の制定を受けて、当社では特に近年力を入れている機能性表示食品の開発について、機能性表示制度を活用した食品・飲料の届出を行うための動物実験の可否判断に関する運用指針を作成し、社外有識者の確認を得た上で動物実験を行うプロセスを本年2月上

旬に導入しており、「法律上明確に義務付けられている」範囲を厳格に捉える運用をしております。実際、このような厳格な運用を導入して以来、当社グループでは特定保健用食品や機能性表示食品のための動物実験を実施しておりません。また、本年 1 月末をもって弊社の研究拠点に設置していた動物実験設備も閉鎖しております。

当社では将来的な食品・飲料分野における動物実験の全廃（但し、市販後の事故等、公衆衛生上の説明責任が生じた場合や諸外国の制度上法的要件とされている場合を除く）に向けて、引き続き取り組んでまいり所存です。そして、下記 4 に記載のとおり、動物実験代替法の開発と普及に向けた人的投資と財政的投資も強化してまいります。

2. 要望事項 2 につきまして

化粧品・医薬部外品分野においては、既に本基本姿勢の制定を受けて、法律上明確に義務付けられていない動物実験を廃止しております。医薬部外品の製造販売承認申請のための動物実験及び、化粧品基準の改正に伴って必要となる動物実験につきましては、「法律上明確に義務付けられている」範囲に含まれ得るものの、上記 1 に記載のプロセス導入以降、そのような動物実験は行っておらず、今後もそのような動物実験を行う具体的な予定はございません。

当社では、将来的な化粧品・医薬部外品分野における動物実験の全廃（但し、市販後の事故等、公衆衛生上の説明責任が生じた場合や諸外国の制度上法的要件とされている場合を除く）に向けて、引き続き取り組んでまいり所存です。そして、下記 4 に記載のとおり、動物実験代替法の開発と普及に向けた人的投資と財政的投資も強化してまいります。

3. 要望事項 3 につきまして

日用品分野においては、既に本基本姿勢の制定を受けて、法律上明確に義務付けられていない動物実験を廃止しております。そして、実際、上記 1 に記載のプロセス導入以降、動物実験を全廃（但し、市販後の事故等、公衆衛生上の説明責任が生じた場合や諸外国の制度上法的要件とされている場合を除く）しております。

4. 要望事項 4 につきまして

当社では、従前から外部のバイオベンチャーと連携して独自に動物実験代替法の開発を進めてまいりましたが、今後動物実験代替法の開発と普及に向けてさらに人的投資と財政的投資を強化してまいります。社内的には、代替法開発について新規課題として設定し、従来の 3 倍以上の人的投資を行うと共に、研究開発費も増額します。また、本年 5 月 21 日には日本動物実験代替法学会に賛助会員として入会しました。今後は業種の垣根を越えてより活発に情報交換すると共に、国内における動物実験代替法の開発促進に貢献してまいります。

以上